

# 福島経済マンスリー

2月の県内経済は、公共投資など一部に弱い動きがみられ、全体では持ち直しの動きが緩やかになっている。

## 1. 2018年2月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動の弱さに加え、公共投資が高水準ながら減少基調で推移するなど、全体では持ち直しの動きが緩やかになっている。	➡	☀️/☁️
消費動向	大型小売店販売額は、百貨店が6カ月連続で前年を下回ったものの、スーパーが4カ月連続で前年を上回り、合計でも3カ月連続で前年比プラスとなった。乗用車新車登録台数は普通車、小型車、軽自動車のいずれも前年を下回った。	➡	☀️/☁️
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が3カ月連続、請負金額が8カ月連続、保証金額が12カ月連続と、いずれも前年を下回った。公共投資は引き続き震災前を上回る水準を維持しているものの、復旧・復興の進捗により減少基調で推移している。	➡	☁️
設備投資	民間非居住用建築着工は、棟数が2カ月連続で前年を下回ったものの、床面積が4カ月連続、工事費予定額が2カ月ぶりに前年を上回った。	➡	☀️/☁️
住宅投資	新設住宅着工戸数は、持家が4カ月連続、貸家と分譲が2カ月ぶりに、いずれも前年を下回り、全体でも2カ月ぶりに前年を下回った。	➡	☀️/☁️
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比（季節調整値）が△8.1%と2カ月ぶりに前月値を下回った。業種別の前月比をみると、上昇が3業種に対し低下が16業種で、12月に大幅上昇した反動から、大半の業種で前月より低下した。	➡	☁️
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月比△0.02ポイント、原数値が前年同月比+0.07ポイントとなった。一方、雇用保険受給者実人員は前年同月比△5.3%と10カ月ぶりに前年を下回った。	➡	☀️

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（↗️：改善、➡️：不変、↘️：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較等を参考に、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断、鉱工業生産指数は1月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

←
良
い
悪
い
→

## 2. 県内経済動向の概要

### (1) 前年同月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2017年9月	10 月	11 月	12 月	2018年1月	2 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 0.9	△ 1.5	△ 0.1	0.7	0.0	0.5
	乗用車新車登録台数	5.1	2.4	△ 3.7	△ 10.7	△ 0.7	△ 5.2
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 45.4	△ 22.8	△ 26.5	△ 52.0	△ 32.3	△ 17.3
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	77.2	△ 50.7	40.0	2.5	△ 53.4	10.1
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 2.7	△ 10.7	△ 16.8	△ 19.8	5.4	△ 5.3
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	0.0	1.6	△ 2.1	2.6	△ 0.6	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.06	0.05	0.02	0.07	0.08	0.07
	雇用保険受給者実人員	1.4	5.3	5.5	2.3	0.1	△ 5.3

注1 鉱工業生産指数と有効求人倍率は原指数。Pは速報値、rは訂正值。

### (2) 前月比

(単位：%、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2017年9月	10 月	11 月	12 月	2018年1月	2 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 11.8	8.0	△ 0.0	26.3	△ 17.3	△ 10.8
	乗用車新車登録台数	38.7	△ 16.6	3.0	△ 12.4	15.5	8.3
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	34.7	14.6	△ 36.2	22.6	△ 3.3	△ 9.6
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	96.2	△ 10.2	△ 21.0	△ 9.2	△ 19.4	△ 3.8
住宅投資	新設住宅着工戸数	9.3	10.3	△ 25.0	7.7	△ 18.0	4.3
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	0.0	△ 1.7	△ 0.1	4.1	△ 8.1	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	△ 0.02
	雇用保険受給者実人員	△ 8.8	△ 1.7	△ 4.9	△ 6.6	△ 0.2	△ 5.6

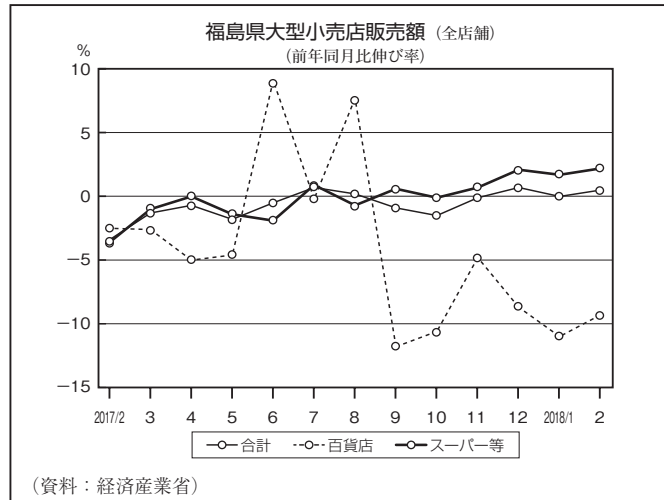
注2 鉱工業生産指数と有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

### 3. 県内経済動向

#### 消費動向

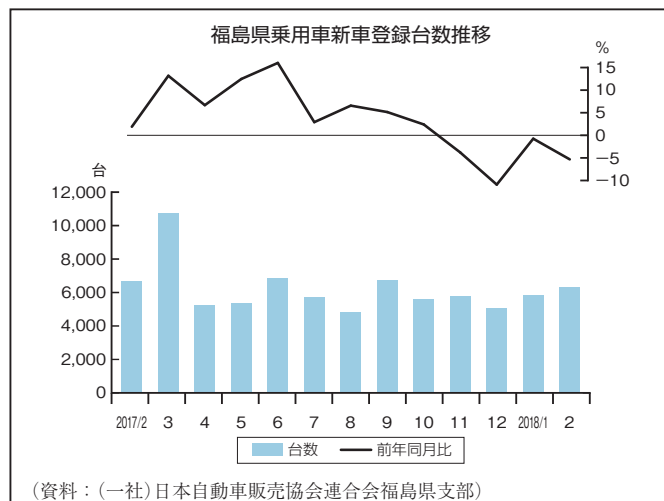
##### 大型小売店：3カ月連続で前年比増

2月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で190億25百万円（前年同月比+0.5%）と3カ月連続で前年を上回った。業態別でみると、百貨店は、衣料品、飲食料品がともに前年を下回り、合計では同△9.3%となった。一方、スーパーは、衣料品が前年を下回ったものの、飲食料品が前年を上回ったことから、合計では同+2.2%となった。



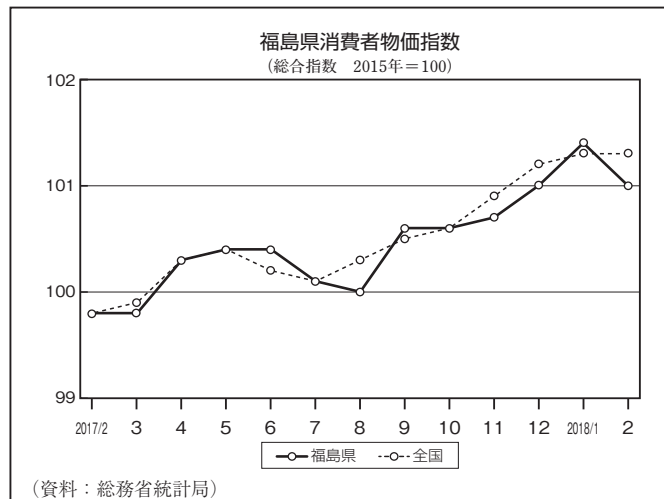
##### 乗用車販売：4カ月連続で前年比減

2月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で6,298台（前年同月比△5.2%）と、4カ月連続で前年を下回った。車種別でみると、普通車が1,985台（同△4.9%）で2カ月連続、小型車が1,808台（同△9.1%）で5カ月連続、軽乗用車が2,505台（同△2.3%）で2カ月ぶりに、いずれも前年を下回った。



##### 消費者物価指数：前年比は上昇、前月比は低下

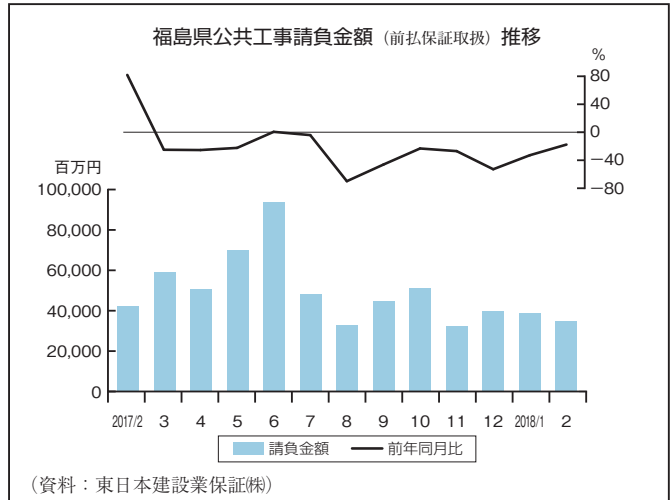
2月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2015年=100）が101.0で前年同月比+1.3%、前月比△0.3%となった。費目別に前月比で見ると、「教養娯楽」の102.1（同+1.0%）など5費目で上昇し、下降したのは「食料」の104.9（同△1.5%）など4費目となった。



公共投資

公共工事：請負金額は8カ月連続で前年比減

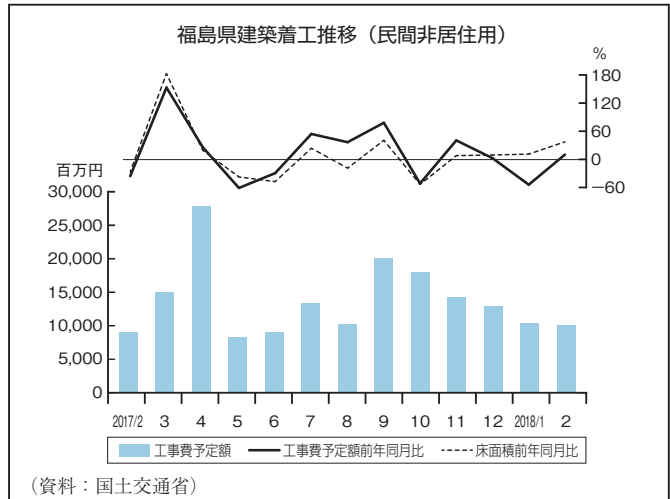
2月の公共工事前払保証取扱は、件数が262件（前年同月比△21.3%）で3カ月連続、請負金額が351億15百万円（同△17.3%）で8カ月連続、保証金額が232億76百万円（同△15.8%）で12カ月連続と、いずれも前年を下回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額は2カ月ぶりに前年比増

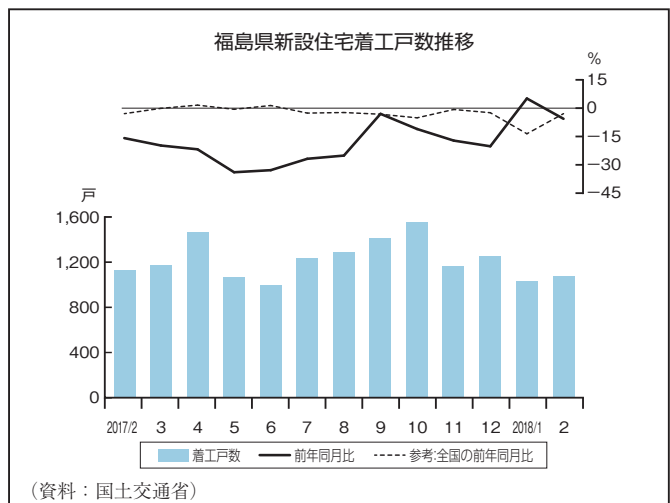
2月の建築着工（民間非居住用）は、棟数が123棟（前年同月比△6.8%）と2カ月連続で前年を下回ったものの、床面積が75,759㎡（同+37.2%）と4カ月連続、工事費予定額が100億16百万円（同+10.1%）で2カ月ぶりと、ともに前年を上回った。



住宅投資

住宅建設：着工戸数は2カ月ぶりに前年比減

2月の県内新設住宅着工戸数は、1,072戸（前年同月比△5.3%）と2カ月ぶりに前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」が422戸（同△8.5%）で4カ月連続、「貸家」が436戸（同△6.8%）で2カ月ぶり、「分譲」が144戸（同△23.4%）で2カ月ぶり、いずれも前年を下回った。

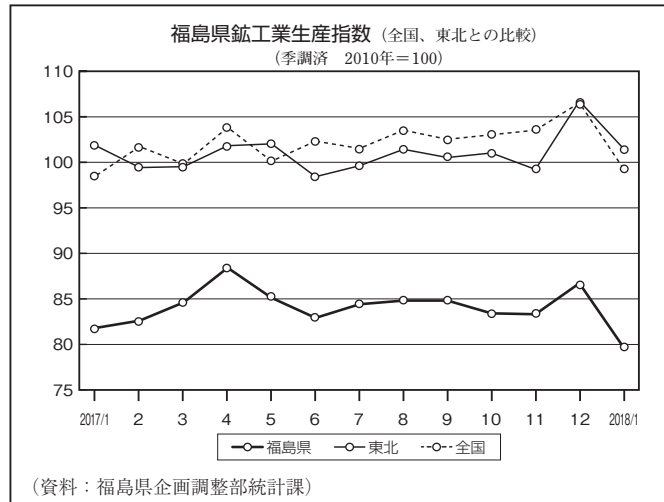


生産活動

※鉱工業生産指数は1月のデータ

鉱工業生産指数：前月比・前年比ともに低下

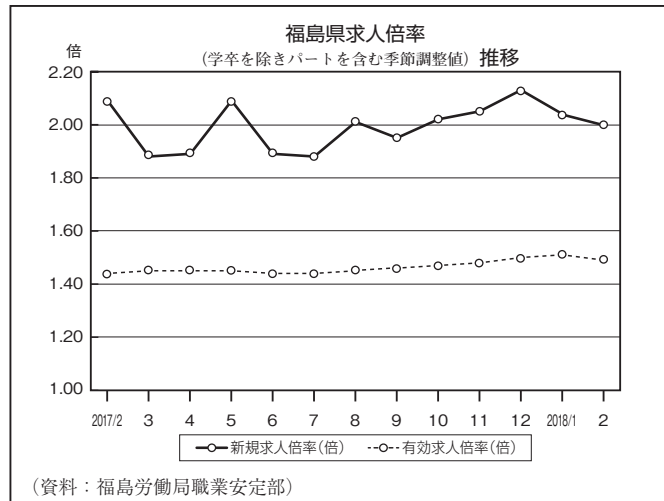
1月の鉱工業生産指数（季節調整値）は79.7で前月比△8.1%と2カ月ぶりに前月値を下回った。一方、原指数は77.0で前年比△0.6%と2カ月ぶりに前年値を下回った。業種別の季節調整値をみると、「木材・木製品工業」（同+25.1%）など3業種で上昇し、「化学工業」（同△22.0%）など16業種で低下した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前月比低下、前年比上昇

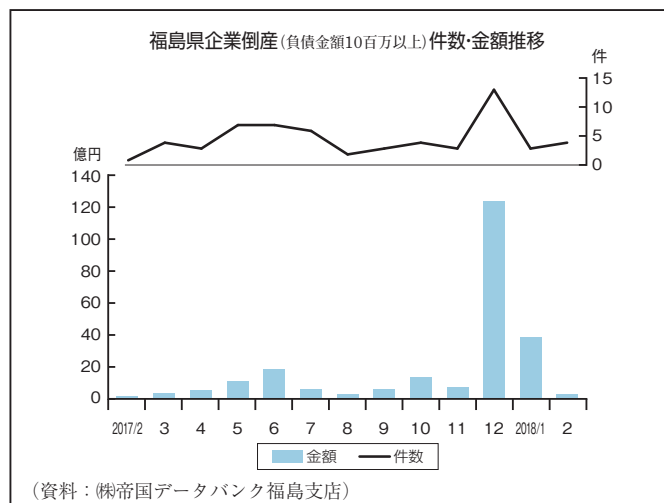
2月の新規求人倍率は、季節調整値が2.00倍（前月比△0.04ポイント）、原数値が2.03倍（前年同月比+0.03ポイント）となった。また、2月の有効求人倍率は、季節調整値が1.49倍（前月比△0.02ポイント）、原数値が1.60倍（前年同月比+0.07ポイント）となった。一方、2月の雇用保険受給者実人員は5,421人（前年同月比△5.3%）と10カ月ぶりに前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：件数・金額ともに前年比増

2月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が4件（前年同月比+300.0%）、負債総額が2億50百万円（同+257.1%）と、いずれも前年を上回った。業種別では、建設業、卸売業、小売業、運輸・通信業で1件ずつとなった。

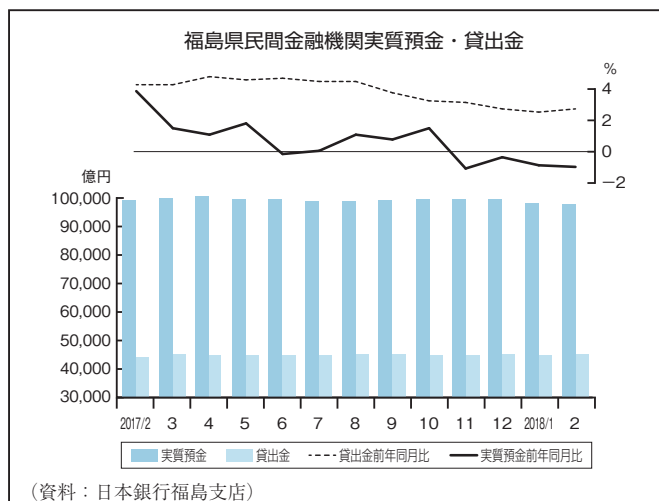


金融動向

資金需給：実質預金は前年比減

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の2月末の実質預金残高は、9兆8,156億円（前年同月比△1.0%）と4カ月連続で前年を下回った。一方、貸出金残高は、4兆5,153億円（同+2.6%）と4年9カ月連続で前年を上回った。

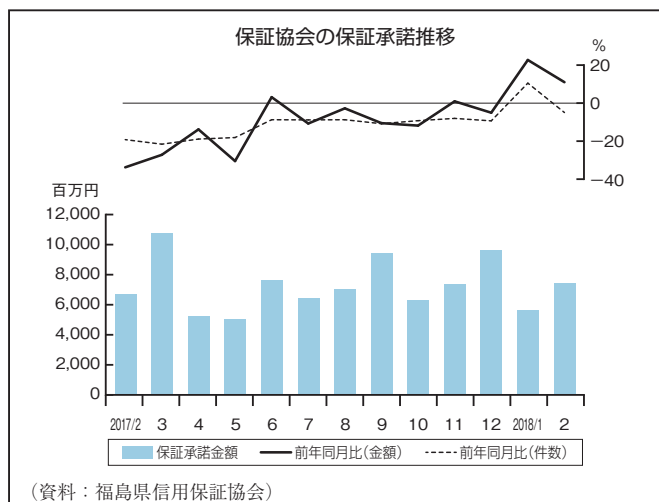
※実質預金は、総預金から手形・小切手を控除したものの。



保証協会：保証承諾は件数・金額ともに前年比増

2月の保証承諾は、件数が587件（前年同月比△5.0%）、保証金額が74億22百万円（同+11.0%）となった。また、2月末日現在の保証債務残高は、件数33,762件（同△9.7%）、金額2,850億36百万円（同△11.3%）となった。

一方、2月中の代位弁済は、件数が32件、金額が1億73百万円となった。



4. 業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

**家電大型専門店** 2月の家電大型専門店の売上高は、エアコンやスマートフォンなどに伸びがみられ、合計では前年を3%ほど上回った。

**ホームセンター** 2月のホームセンターの売上高は、灯油販売や日用品、家電製品などで前年を上

回り、合計でも前年を5%ほど上回った。

**高速道路** 2月の県内自動車道出入台数は、合計で4,466,298台（前年同月比△3.4%）と、2カ月連続で前年を下回った。路線別にみると、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）が330,758台（同+0.1%）と4カ月連続で前年を上回った。一方、東北自動車道（白河IC～国見IC）が2,220,223台（同△0.3%）で4カ月ぶり、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）が470,716台（同

△3.5%)で2カ月連続、常磐自動車道(いわき  
勿来IC~新地IC)が1,444,601台(同△8.4%)で  
6カ月連続と、それぞれ前年を下回った。

**福島空港** 2月の福島空港国内定期路線の利用状  
況は、15,640人(前年同月比+8.6%)と2カ月連  
続で前年を上回った。路線別にみると、札幌便は  
4,024人(同+5.8%)、大阪便は11,616人(同+9.6  
%)となった。

(国際定期路線は全便運休)

**生産活動**

※企業ヒアリング等による結果

**化学** 2月の高機能樹脂は、自動車の部品用素材  
向けや家庭用製品の需要動向に大きな変化はなく、  
前年をやや上回る生産水準を維持している。

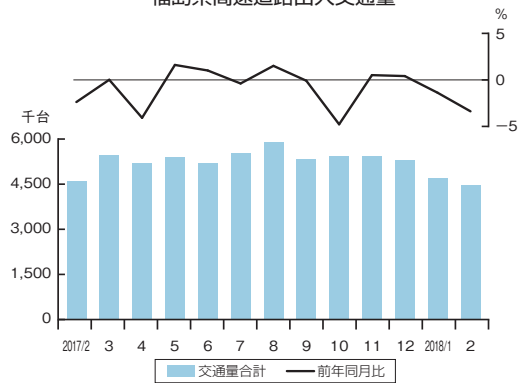
**鉄鋼・金属** 2月の伸銅品の生産は、自動車向け  
端子材が前年を5%ほど上回ったものの、稼働日  
数の関係から半導体向け電子材が前年を20%ほど  
下回り、全体でも前年を5%ほど下回った。2月  
の建機用鋳造品の生産は、前年を5%ほど上回っ  
た。2月の鋳鋼品の生産は、船用部品が前年を  
30%ほど下回ったものの、車輻関連については前  
年の約3倍の生産となった。

**輸送用機械** 2月の自動車用鋳造品は、トラック  
用の受注が引き続き好調で、前年を10%ほど上  
回る生産となった。また、オイルシールは、国内外  
の自動車向けの受注増などから、生産水準は前年  
を上回る状況が続いている。

**電気機械** 2月の電気機械の生産は、配電盤や変  
圧器などが前年を上回ったものの、誘導炉やモー  
タなどが前年を下回り、合計でも前年をやや下  
回った。

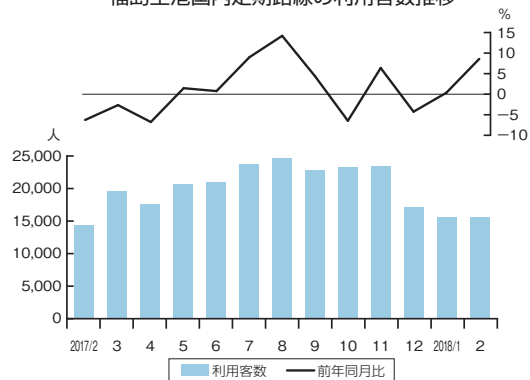
**情報通信機械** 2月の情報処理装置は、前年の生  
産水準を維持し、受注状況は安定している。

福島県高速道路出入交通量



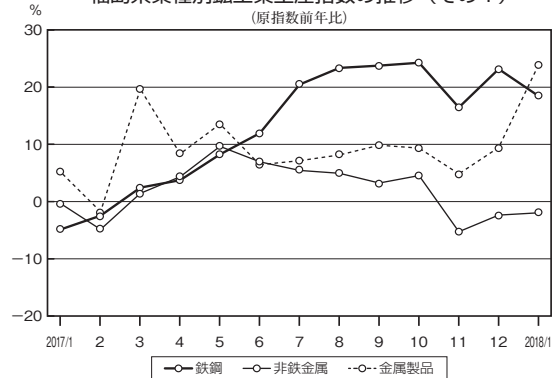
(資料: 東日本高速道路(株)東北支社)

福島空港国内定期路線の利用客数推移



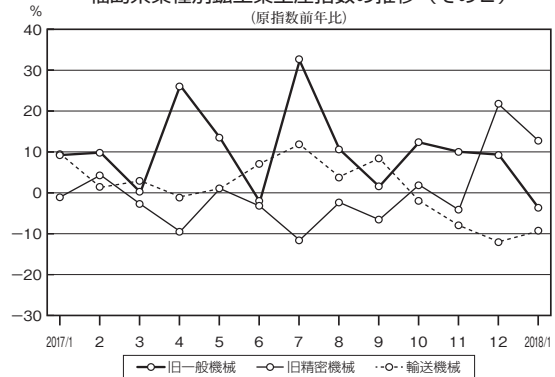
(資料: 福島県商工労働部空港交流課)

福島県業種別鋳工業生産指数の推移(その1)



(資料: 福島県企画調整部統計課)

福島県業種別鋳工業生産指数の推移(その2)



(資料: 福島県企画調整部統計課)

**電子部品・デバイス** 2月のLSI（大規模集積回路）の生産は、需要の回復がみられるものの、現在は増産の準備段階にあり、前月比・前年比ともに10%ほど下回った。

**精密機械** 2月の医療用内視鏡は、国内外ともに好調な受注を維持し、前年を10%ほど上回る生産水準となった。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内外受注が引き続き好調で、フル稼働の生産が続いている。

**窯業・土石** 2月の生コンクリート出荷量は、全体で132,934m<sup>3</sup>（前年同月比+4.8%）と3カ月ぶりに前年を上回った。地域別にみると、大型商業施設の工事が進むいわき地域と学校関連施設や海岸復旧などの工事が進む相双は前年を上回ったものの、それ以外の地域では前年を下回った。

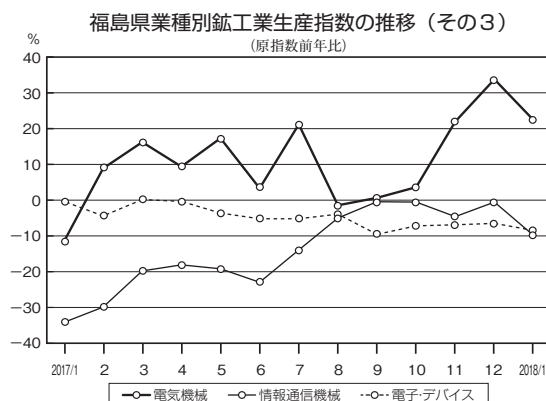
**紙・紙加工品** 2月の製紙の生産は、業界全体でノーカーボン紙の需要が減少しているものの、輸出関連で需要が拡大している感熱紙の増加により、全体では前年を5%ほど上回った。

**清酒** 2月の清酒移出数量は、1,005kL（前年同月比+1.3%）と3カ月ぶりに前年を上回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が499kL（同+1.1%）で9カ月ぶり、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が505kL（同+1.6%）で7カ月連続と、ともに前年を上回った。

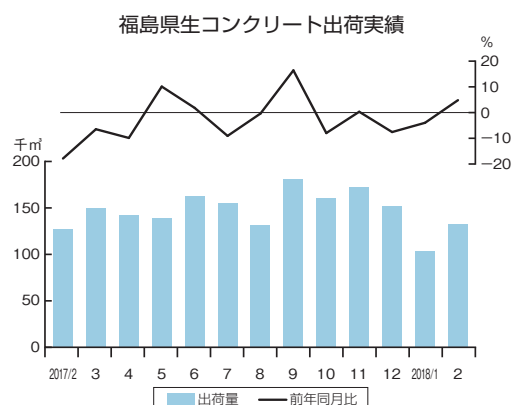
**化合繊維物** 2月の化合繊維物は、生産額が前年を20%ほど上回り、好調な生産を維持している。

**ニット** 2月のニットは、春物製品や秋冬物のサンプル品の生産が引き続き順調で、生産額は前年をやや上回った。

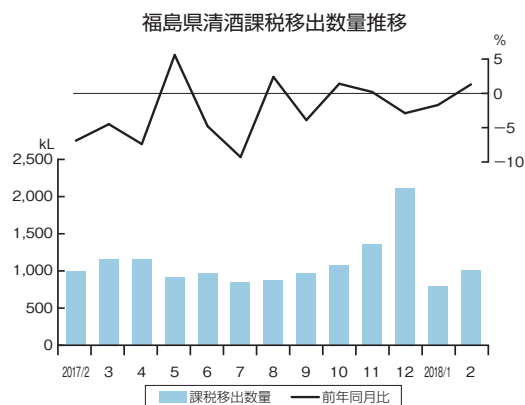
**電灯電力** 2月の電灯電力販売量は、1,253百万kWh（前年同月比△1.6%）と、2カ月ぶりに前年を下回った。



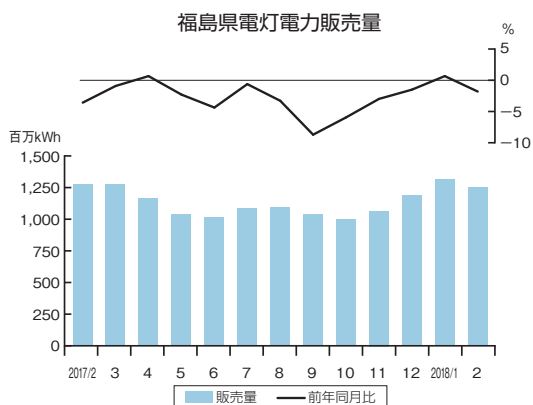
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力(株)福島支店)